

南鯨城会 第46号

こなみ会だより

平成29年1月発行



呼続公園

【目次】



表紙

新しい年を迎えて	1
随想～万葉と奈良、そして古寺・仏像～	2
節分の鬼たち	3
小学生に元気をもらい感謝	4
あなたの「壺中天(こちゅうてん)」は?	5

クラブ・同好会の活動

こなみペタンク大会	6～7
25会だより 東山動植物園コース	8
グランドゴルフだより	9
Aブロック親睦会	10
Bブロック懇親会	11
Cブロック懇親会開催について	12
Dブロック会の開催	13
“趣味の作品展”を終えて	14
親睦日帰りバス旅行報告	15

ボランティア活動

鶴舞公園クリーンキャンペーン	16
大江川さわやかウォークに参加して	17
堀川清掃大作戦	18
国道一号線歩道清掃ボランティア	19
「こころの絆創膏」キャンペーンに参加して	20
南区高齢者サロンまつりに参加して	21

俳句・川柳・短歌

俳句	22～23
川柳・短歌	24
こなみ会行事予定29/1月～4月	25

「表紙の説明」呼続公園

呼続公園の噴水塔です。憩いの場として愛されています。また魚釣りをしたりして楽しんでいきます。東には長楽寺があり、立木観世音菩薩の由来、尾張三十三観音、東海百観音霊場、第四札所、稻荷山、長楽寺、盲導犬の碑もあります。
北には新郊中学があり、静かな場所です。

(写真撮影 D-春日野2 29期美術 後藤 和貞)



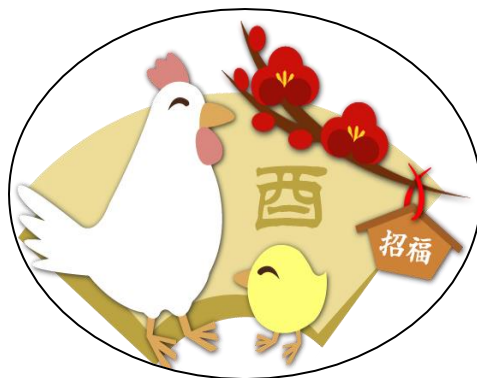
新しい年を迎えて

会長 B・白水 27期健康 遠藤 信子

皆様、あけましておめでとうございます。
日頃は、こなみ会の活動にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。
今年も皆様が福をとりこみ、ケッコウな年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、鯨城学園では来年度の学生募集が始まっています。友人知人に学園生活の楽しさや新しい交流の中で見いだした自分自身の発見の驚きなど生の声で周りの人に伝えていただければ幸いです。さらに卒業生の再入学が可能になりました。同じ専攻でないことと欠員のでた専攻に限るということで更に新しい目標を持ち挑戦してみてはいかがでしょうか？鯨城会としては再入学の決まった場合鯨城会会員として扱うのか学生会会員として扱うのか、それによって在籍者数や会費も変わってくるので細かい点については早く知りたいところですが名古屋市の承認待ちとなっております。

こなみ会では新しい仲間が一人でも多くなればと思っています。鯨城学園で培ったコミュニケーション能力を大いに発揮して仲間の輪を広げて行きましょう。健康寿命を延ばすために仲間と笑顔で話せる機会を持ちましょう。そのための場がこなみ会だと言えたら素敵だと思います。会員の皆様と心をひとつにして今年も楽しいこなみ会にしましょう。手をとり合ってはばたこうではありませんか！



随想～万葉と奈良、そして古寺・仏像～

副会長 D-桜(1) 28期陶芸 岡田 光二

近江・石山寺に行ってきました。33年に一度の勅封秘仏、如意輪観世音菩薩半跏像の御開扉に巡りあいました。若い頃から古寺を訪れ仏像を眺めるのが好きです。入江泰吉の風景写真、土門拳の仏像写真や“雪の室生寺”に魅かれました。古寺に通じる思いから、鯉城学園では万葉散歩クラブに入りました。そこで「コミック・天上の虹」から持統帝を取り巻く時代に浸りました。飛鳥・近江を舞台に繰り広げられた律令国家として形を成していく日本の激動期を、コミックならではの入り易さと躍動感で学び直しました。この万葉初期の時代に詠まれた「万葉集」著名な歌人の作品ばかりでなく、防人や庶民の歌まで4千5百首余も収める壮大な歌集に改めて感動しました。万葉の時代の舞台、近江・飛鳥そして奈良、歳を重ねるにつれもっぱら静かで落ち着いたこの奈良を訪れるようになりました。



法隆寺百済観音像、中宮寺弥勒菩薩半跏像や東大寺大仏(盧舎那仏)を始め国宝・重文の数々、色んな表情の仏像達が迎えてくれ、かつて同じように都が置かれた栄華が京都とは違った時の流れで包んでくれます。平城宮の北東隅に光明皇后創建による海龍王寺がひっそりと建ちます。本尊十一面観音菩薩立像は美人、興福寺の阿修羅像に並ぶ美形です。春と秋の特別開扉時にはより間近に見られ感動ものです。奈良公園の喧騒を離れ、一人ゆったりと訪れてみてください。普段は脇役の十二神将立像が主役を務める新薬師寺、その本堂の一隅に佇立する(幻の)香薬師如来立像も、その数奇な運命を知れば足が止まります。そこかしこに万葉が感じられる奈良、晩秋に紅く染まって来ました。また気儘に万葉散歩を気取ります。



節分の鬼たち

顧問 C-呼続(2) 24期陶芸 佐野 達郎

鬼は外 !! 福は内・・・節分は悪い鬼を追い払い、福の神を家に呼び込むというのは何となく知っていますが、そもそも鬼って何？ 何で豆で追い払うの？ 考えたらたくさんの疑問がでてきますよね。これは中国の習慣が伝わったものとされています。豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があります。最近では恵方巻を節分に食べるというのがブームになってきました。しかしひと昔前まで節分で食べるものは鰯(いわし)でした。

節分は大晦日 節分とは、本来「季節の変わり目」を意味しており、昔は「立春・立夏・立秋・立冬」の前日を節分としていました。新しい年(立春)を迎える前日(立春の前日・節分)に、鬼に豆をぶつけます。そして邪気(鬼)を払い、福を呼びこもうとしたのです。最近では恵方巻を節分に食べるというのがブームになってきました。しかしひと昔前まで節分で食べるものは鰯(いわし)でした。また、節分には、柊鰯(ひいらぎいわし)を飾ったりしますが、何故なのでしょう？

古事記にも記載があるように、日本では古来より、柊に魚の頭を刺して、魔よけにする習慣がありました。昔から臭いのするものは、魔よけになるといわれていたためです。イワシを焼いて臭いを強くし、^{ひいらぎ}柊の葉っぱの^{とげ}棘が、鬼の目を刺すと言われていました。

鬼って何者 昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治出来たという話が残っております。

「魔の目(魔目=まめ)」に豆を投げつけて「魔を滅^ます^{ほろぼ}」に通じると言うことです。「この世のものと思えないもの」は怖いものです。災害や疫病、飢餓などの災害などはこの「鬼」の仕業だと考えられていたのです。人間の想像を超えた恐ろしい出来事はみんな鬼の仕業と考えられていたのです。

鬼の五人(鬼)衆 が居て、それぞれ別の意味を持っています。

- ☞赤鬼・・貪欲 ^{どんよく} 全ての悪い心の象徴といわれており、豆をぶつけることで、自分の悪い心が取り除かれるといわれています。
- ☞青鬼・・怒り/貧相 自分自身に豆をぶつけることで、徳を呼び込むといわれています。
- ☞黄鬼・・我執 わがままな自分の甘えを反省して、豆をぶつけます。
- ☞緑鬼・・不健康 健康を祈って豆をぶつけます。
- ☞黒鬼・・愚痴 卑怯な気持ちを追い出し、豆をぶつけて平穏を祈ります。鬼は自分自身の内にも居るようですね？ あなたは何色かな。



小学生に元気をもらい感謝

広報委員 D-笠寺1 26期生活A 村上 正一

6か月前から小学校20名程(2年生～5年生)の生徒さんと一緒に地域の「今と昔」をテーマに月1回勉強しています。お陰様で学校の先生、教育委員会校長先生経験者の各務さんなど周りの方々にご指導いただきスタートでき皆さんに感謝しております。

小学生はやんちゃでなかなか耳を傾けて聞いてくれなれないと言われましたが、ときどき若干はありますが、よく話を聞いてくれますし鋭い質問もあります。一つの例をあげますとこの小学校の昔は「城」でした。その話の中で5年生の生徒さんから「城」とはどうして「しろ」と呼ぶようになったのか？いわゆる「語源」の質問がありました。さてさて私もわかりません。その時は私も分からないので調べて来月皆さんに答えますと言う事にしました。それからインターネットで検索したり、歴史を勉強している方に聞いても分からないとの事。結局「鶴舞図書館」に行き、図書館の方にご指導願ひ「日本国語大辞典」「古語大辞典」など調べたが色々な説があり図書館の方もこれだという事は云えないとのことでした。しかし有力な説として延暦13年(794年)に桓武天皇が平安京に遷都したとき国名を山背国(やましろくに)から山城国(やまきくに)に改名した。字を変えたが呼び方はそのまま{やましろくに}と呼んでいた。これが「城」→「しろ」と呼ぶようになったという説です。さて、これを生徒さんにどう説明したらいいのか先生と相談した。先生にまとめて頂き生徒さんに説明して頂いた。生徒さんには、生徒さんが理解する言葉、話し方がそして納得してくれる信頼関係がある事を教えてもらいました。また、生徒さんの実直な態度、話し方など感心させられる事も多く自分もそれに応えられることの重要性を感じています。



ずっと昔に、笠寺小学校の場所にお城があり、多くの人が生活していました

あなたの「壺中天(こちゅうてん)」は？

B・千鳥 20期環境 荒井 久治

一茶は「目出度さも 中くらいなり おらが春」、一休は「新年は 冥土の旅の 一里塚 目出度くもあり 目出度くもなし」と新春を詠んだ。私もこの心境に近づいた事に気付く。さらに年齢と祝い事が気になり調べると「数え歳で61歳で還暦、70歳で古希、77歳で喜寿、80歳で傘寿、88歳で米寿、90歳で卒寿、99歳で白寿、100歳で百寿と祝う。聖路加国際病院名誉院長の日野原重明さんは「105歳、私の証 あるがまま行く」を毎日新聞の土曜版に連載中、その頭脳・身体の健在さに恐れ入る。108歳で茶寿、110歳で珍寿、111歳で皇寿、120歳で大還暦」と進む。私も祝歳で伊豆・下田の温泉へ出掛けた。そこで「壺中天」を標榜する宿に。壺中天のいわれは「漢代、ある役人が市場を取り締まる役に就いた。その市場に一人の薬を商う老人がおり、店先には大きな壺が置いてあった。ある夕暮れ時に役人が観るとはなく見てみると、その老人は商いが終わると店を閉め、あたりを見回すと、その大きな壺にひょいとして入ってしまった。何と不思議なことをすると、役人は翌日その老人を問いつめたところ、壺の中に連れて行ってもらう事になった。壺の中に入ると立派な宮殿があり、おいしい酒や、おいしい食べ物があふれていた。それはこの世とは思えない別天地で役人は、しばし浮世を忘れ酒を酌み交わし、世俗なことを忘れ、別世界で遊んだのであった」。この故事は「壺中有天」とも言い、その意味とするところは「世俗であっても、独自の世界を持つ大切さを説いている」と言う。勤めていた頃は多くに人と遊び、それが退職後は急速に減り、次第に故人も多くなり、最後は「一人で遊べる趣味を持つ」事が大切になる。これが「壺中天」の本質であろう。この点、自由に解釈され何かの役に立てば幸いです。

蛇足ですが、宿の個室の「壺の風呂」からは、穏やかな弓状の海岸と椰子が見え、入ってみると予想外に気分が良かった。これが宿の「壺中天」か？



平成28年11月6日(日)開催

こなみペタンク大会

日本の気圧配置は西高東低の冬型配置です。シベリアからの大寒気団が南下して北海道は吹雪！23センチ積雪！！異常です。秋田はあられ交じりの寒い雨！！東京では木枯らしの風！！（夕方テレビ放映、寒そうです）

名古屋の空は見上げると雲一つない突き抜けるような真っ青な空！風も無く気温も21度と大変気持ちの良いペタンク大会日和です。

こなみ会遠藤会長の“今日のお天気は参加者の日頃の行いの良さでしょう”

“励ましやコミュニケーション”等々 大変喜ばしく楽しいお言葉を頂き、大会の幕が落とされました。

20名の大会参加者は5グループに分かれ競技はスタート！！

あっちこっちで賑やかな笑いや、悲鳴や、和気あいあいの声が響きわたります。



“楽しい笑い” “ヤッター” “入ったー” “嬉しいお喋り” “お友達”



すぐに出来るコミュニケーション、お友達！！いつでも待ってます！おいでね。

*呼続公園で毎週日曜日8時30分からペタンクしてまーす。

こなみペタンク大会 平成28年11月6日(日)開催

参加者順位及び賞品表

大会参加者数20名

	お名前	順位賞	飛び賞	参加賞
優勝	春日部 博	○		○
準優勝	舟橋 清峯	○		○
3位	小野田英子	○		○
4位	野村しずよ			○
5位	内藤 啓子		○	○
6位	安達 博次			○
7位	市川 公一		○	○
8位	村上 正一			○
9位	竹内 孝明			○
10位	近藤 トミ江		○	○
11位	田中 良一			○
12位	浅井 利子			○
13位	二村 洋治			○
14位	岡田 みち子			○
15位	安達 ひろ子		○	○
16位	倉地 悠美			○
17位	加藤 紀代子		○	○
18位	鶴田 千恵子			○
B B	鈴木 京子	○		○
20位	川島 喜美子			○

皆様お疲れ様でした！風も無く小春日和の心地よいペタンク大会でした。
有難う御座いました。

こなみペタンク同好会 代表 瀬口 勝



25 会だより 東山動植物園コース

C-呼続(2) 22 期文化B 加藤 紀代子

ここ数日、はっきりしないお天気続きだったのが 9 月 25 日は、久しぶりの晴天。今回は、地下鉄星ヶ丘に集合し植物園から動物園へと、いつもと逆コースです。参加者は 15 名、少し歩くともう汗ばむほどの陽気でした。植物園は時季的に花、紅葉には半端な時期でしたが、歩き始めて途中、彼岸花、白玉草、萩、睡蓮等々目に止まる。大小の団栗がいっぱい落ちていました。以前会員の鈴木さんに、「これはカシ」「これはクヌギ」「これはナラの果実」と教えて貰ったのに、どれがどの木の実なのか全然覚えていませんでした。歳のせいだけではないと思うけど……。

動物園ではやっぱりイケメンゴリラ「しゃばーに」に人気があったようです。休憩時には小野田さん特製の、きゅうりとみょうがのお漬物を美味しく頂きました。ご馳走さまでした。

健脚の人には少し物足りなく思われたかも？でも二時間楽しく過ごすことができました。



グランドゴルフだより

グランドゴルフ同好会代表 15期美術 舟橋 清峯

1、 鯉城会グランドゴルフ交歓会

開催日 平成 28 年 9 月 27 日 (火)
会 場 瑞穂公園内・田辺陸上競技場
競技者 200 名余り こなみ会から 9 名



台風の影響で順延され、競技者は当初予定の 265 名からかなり減少しました。当日は、どんより曇り空で、時折厳しい陽射しの蒸し暑い日でした。そんな悪条件にも拘わらず真剣ななかにも和やかな雰囲気ですべてに専念していました。残念ながらこなみ会からは、今一步で入賞は逃しましたが、トマリ賞を浅井としさんが 2 個、菅田徳子さん 1 個獲得されました。何よりの慰めでした。

2、 同好会グランドゴルフ交歓会

開催日 平成 28 年 10 月 27 日 (木)
会 場 呼続公園グランド

雲一つなく爽やかなそよ風の下、17 名のプレイヤーが、和気あいあいと、一喜一憂しつつプレーに熱中することができました。プレー前後の準備、後片付けとして、ホールポスト、スタートマットなどの用具の配置、撤去を全員で行ない、清々しい気分を味わいました。当たり前とはいえ、なかなか難しいことです。こなみ会の団結の強さを感じました。成績は、指定席の岡田みち子さんが優勝、ツキが頼りの舟橋清峯さんが準優勝、日頃の実力に及ばずの畑佐民定さんが 3 位でした。トマリ賞は、複数賞が、岡田みち子さん、舟橋清峯さん、単数賞は、畑佐民定さん、近藤とみ江さん、太田鎡智子さんでした。怪我もなく終わることができ何よりでした。

最後に広報の森晴生さんには、写真撮影そしてプレーではピンチヒッターをお願いし有難うございました。終了後懇親会を行いました。



Aブロック親睦会

幹事 A-明治 28期陶芸 石田 牧子

10月25日(火)10時に参加者11名で中部電力新名古屋火力発電所に集合し、発電所見学と隣接するブルーボネット内レストラン「アウラ」にて昼食、園内散策に行ってきました。当日は小雨でしたが大降りにならず、発電所内の移動には傘を差すことなく見学できました。室内で40分ほどDVDを見ながら、火力発電所のあらましについて説明を受けました。1959年に1号機の営業運転が開始、その後石炭から石油燃料に転換され、1993年1～4号機を廃止、撤去とともに、クリーンエネルギーであるLNG(ガスタービンと蒸気タービンの組み合わせ)を使用したコンバインドサイクル発電方式の7・8号系列発電設備工事が開始、2008年に営業運転が始まり現在に至ります。二酸化炭素の排出量の削減に向けて取り組み、発電所全体の熱効率を向上させエネルギー資源の節約、地球環境負荷の低減に努力されていることを聞きその後、実際に8号機の建屋内見学となりました。建屋に入ると発電機の轟音でハンドマイクの声も聞きとりにくく、数分だけでしたが頭が少し痛くなるほどで、作業される方の変な想像し、普段スイッチを押せば電気がつく生活に感謝するばかりです。次に中央制御室を見学し24時間、2交代制でコンピューター管理のもと、発電機の実出力容量などのチェックをされていました。明るい名古屋市で日々の生活が出来ることを感謝し、これからも節電することを心がけたいと思いました。

発電所の見学を終え、隣接するブルーボネットに移動、園内レストラン「アウラ」で昼食をしながら歓談し、小雨の中ハロウィーンの飾り付けがされた庭園内を散策しました。私自身、今年の春に訪れていましたが秋の花々も趣きがあり、特に淡いむらさき色の水連が咲いていて、とても癒され帰途につきました。今回の懇親会をお世話くださいました岡田ブロック長に感謝いたします。



Bブロック懇親会

幹事 B-大生 27期園芸 中村 吉延

9月30日(金)にBブロックの懇親会として名鉄柴田駅近くの“とよ千”にて12時より昼食会を開催しました。Bブロックでは毎年1回ほど親睦をかねて食事会をしていますが、前回、前々回と同じ場所での開催でしたので今年は別のところだと云うことで幹事の方や有志の方で色々探し回り、今回はバス停近くで集まり易い、一階であるなどの条件でここにしました。

昼の食事会の為、アルコールは少なめでしたが、飲める人はそれなりにほろ酔い気分で皆さん和気あいあいにて親睦がはかられたと思います。

Bブロックでは、次回も同様にこの会合を続けていきたいと思っておりますので、会員の皆様是非！ご参加をお待ちしております。



Cブロック懇親会開催について

Cブロック長 C-大磯 25期美術 福島 健治

こなみ会(南鯨城会)会員 189 名が集まる機会は、年に数回(新年会、総会、社会見学等)ありますが役員を含む有志の集いが主な行事となっています。最近は、親睦やコミュニケーションづくりで、明るく、楽しく、元気よくをモットーにこなみ会でも各ブロック毎に親睦会や社会見学等催し事が行なわれるようになりました。

Cブロックも7月26日、あいにくの雨降りでしたが16名の参加者があり、桜本町の食肉店の食事処“まるはち”で親睦会兼食事会を行ないました。Cブロック(52名)中16名で寂しい人数でしたが、今後はもっと参加して頂くように努力致します。

土用の入りで、うなぎといきたいところ会費の関係で、肉料理で元気を付けて頂くよう独断で決めました。食事会は、美味しいものを食べ、酒も少々入ると人生は楽しくなり、“同じ釜の飯”を食べると友達も沸いてくるものです。あっという間に時間が来てしまいました。意気投合したメンバーで、昼間の二次会は、喫茶オアシスでお茶会をいたしました。

最近、鯨城会の入会者が減少傾向で危惧されています。ボランティアも大事ですが、先ずコミュニケーションづくりが先決だと思います。29期卒業生の鯨城会加入率は、全体で60.3%、こなみ会加入者は30名中13名、加入率43.3%は市内16区の最下位となっております。最高は、東区の81%です。卒業生の生きがいづくり、こなみ会の魅力づくりをもっと知恵を出し合って、真剣に取り組まなければなりません。

今後も、Cブロックの会員の親睦を深めるべく努力したいと思います。ご協力をお願い致します。



Dブロック会の開催

D-笠寺(2) 23期美術 二村 洋治

Dブロック会の第2回親睦会を10月28日(金)に熱田の大同特殊鋼健保会館で3期生から29期生まで総勢23名出席のもとで開催しました。生憎の雨模様の天気が気づかわれる中、当日の出席予定者全員が昼12時までに会場へ集まりました。当ブロックは総会員数63名で、こなみ会の中では一番会員の多いブロックですが、今回の参加者率は37%で先ず先ずの参加者でした。第1回の親睦会につづき第2回目の会合の開催を計画し、各会員に案内しましたが、このブロック親睦会は残念なことに会場の都合で開催が不可能となってしまう今回が第2回目の開催となりました。

この間、長年Dブロックの幹事役を務められ、常に、こなみ会の発展とブロックでの活躍に努力された大塚寿征さん(文化B26期)が去る9月21日に逝去されました。今回の会場はシニア向きに全てが椅子席で豪華な秋の特別メニューの料理、席は学区毎に大まかにまとまって座りました。開会に先だち、今は亡き人に黙とうをしてご冥福を祈り親睦会をスタートしました。先輩、後輩と入り乱れて雑談が始まり多少の潤滑油となる酒やビールで口を湿したのち、自己紹介や近況報告などお互いの理解を深め合いました。その後、いよいよカラオケの時間、待ちくたびれた仲間は大いに張り切り、それぞれ十八番の歌で自慢ののどを披露しました。当初2時間の予定を30分延長して時間の経つのも忘れて楽しい時間を過ごしました。会の終わりが近づく頃にはあちらこちらで頭をつき合わせて、二次会の予定や今後の予定の約束を交わす姿が見受けられ楽しいひと時を過ごしました。

今後もこの様な会を重ねて一層会員相互の繋がりを深めたいと思います。Dブロック会員の皆様、次回には是非多数ご参加頂き、期を超えた交流を大いに図りたいと思います。次回を楽しみに再会を約束して散会しました。今回の企画を担当して頂いた役員の方々ありがとうございました。



“趣味の作品展”を終えて

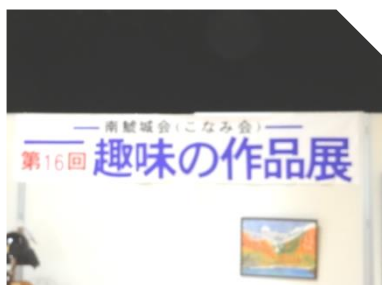
行事委員長 D-桜(1) 陶芸 28期 岡田 光二

“趣味の作品展”今年も10月下旬の2日間、南区役所講堂で催されました。今年で16回目を数えます。他区を見てもこれほど広い会場で、これほど多くの作品が展示されるのはそうはありません。応募受付から3か月のロングラン、やっと終わったというのが正直な処です。でも、皆さんと一緒にパネルを並べ、140点以上の作品を並べ終えて見渡した時には、言葉にできない感動がありました。絵画、書、写真、園芸(盆栽)、及び陶芸に様々な手法を駆使した工芸品など、どれを取っても皆さんの一年の努力の結晶、力作が揃いました。盆栽・生花のような繊細な出展品には、細やかな気遣いをおかけしました。今年は絵手紙の目覚ましい増加と反対に書と写真の減少が目立ちました。また、3つの老人介護施設の皆さんの大作が例年通り会場を華やかにしてくれました。来場者数はおよそ400人、好天にも恵まれ昨年より少し多め、その内、鯉城関係者は三分の一でした。区民の皆さんの応募が会員の2倍と遥かに多くなっています。南鯉城会の趨勢を考えたとき、何らかの変化も考え始める時期かも知れません。作品展資料の準備や展示レイアウト、そして会場設営から当日のお世話にとお骨折りいただいた役員の方々に心よりお礼を申し上げます。会員作陶なる抹茶碗で供した綺麗どころによるお抹茶接待も好評でした。

この一大イベントに限らず、鯉城会活動は皆さん他^{ほか}ごとを抱えながらの無償奉仕です。一生懸命なり過ぎないように、鯉城パワーで適度な緊張感でやっていきましょう。

“いい加減”も時には良いものです。

「^{しゅうとこじゅうと}姑小姑に幸兵衛さん、かわしかわして、無事に終えたり作品展」



親睦日帰りバス旅行報告

行事担当 D・笠寺 1 26 期環境 山田 透

9月30日(火)28年度の親睦日帰りバス旅行として、長野県の「土田園ぶどう狩り」と「かんでんぱぱガーデンでの昼食と散策」と「マルスウイスキー蒸留所見学」を実地しました。

早朝 8 時に木曾路前浜店と名鉄大江駅に集合し、当日キャンセルもなく、予定の 25 名全員時間までに集まって頂きました。途中、中央道の恵那 SA での休憩を挟み塩尻に到着しました。まずは土田園でのぶどう狩りです。標高 700M の高原にあり、園内は屋根付きで広々としていて快適でした。ぶどうは巨峰、デラウェア、ナイアガラの 3 種類があり皆さん 3 種類のぶどうを腹一杯、堪能したと思います。昼食は伊那市にある“かんでんぱぱガーデン”の園内レストラン「ひまわり」で自社農園の野菜を使ったヘルシーな料理と地ビールを美しい園内の緑樹を見ながら食しました。“かんでんぱぱ”は寒天のトップメーカー“伊那食品工業”のブランドで“かんでんぱぱガーデン”は本社北丘工場周辺の 3 万坪の緑地一帯を指します。食事後は園内の散策と買い物を楽しみました。次に駒ヶ根山麗にある「マルスウイスキー蒸留所」の見学です。マルスウイスキーは地ウイスキーの中でも西の雄と言われ、当初鹿児島で始まった蒸留は本格的なウイスキー造りの理想の地を求め、昭和 60 年に駒ヶ根山麗のマルス信州蒸留所へ受け継がれ現在に至っています。工場内ではウイスキー、ワイン、地ビールの試飲と気に入った酒類の買い物を楽しみ帰路につきました。

今回のバス旅行は、会費を少しでも安くするため、ガイドさんを頼まなかったので車中で退屈しないかと心配しましたが、カラオケ、ビンゴ、ゲーム等で楽しみました。特にゲームでは、遠藤会長、高見行事委員が自前で賞品まで準備して大いに盛り上げ頂き、おかげで楽しいバス旅行となりました。

最後に、当日は雨の天気予報でしたが、何とか 1 日あまり降られず、用意した傘もほとんど使わなくてもすみ、体調を悪くする人もなく、予定の時間に無事帰って来ることが出来ました。これも参加者の皆さんのご協力の賜物と思います。有難う御座いました・



鶴舞公園クリーンキャンペーン

副会長 C-菊住 29期福祉A 大田 雅巳

前週の雨による順延のため10月15日にクリーンキャンペーンが開催された。当初の予定であれば多数の参加者が可能であったが、年度計画で決まっていた南鯨城会の役員会と重なってしまったため、会員の参加者は大幅に少なくなってしまった。このキャンペーンは名古屋市の各区の鯨城会会員と当該区に住む鯨城学園の学生とが共同で清掃作業をすることにより、親睦を深める場にもなっている。今回は南鯨城会から5名、在校生から4名が参加した。準備のこともあり、早めに来たつもりでいたが、会の仲間で早く来た方もあり、少々焦った。参加者の出欠を取り、鯨城会本部に報告するとともに学生にも揃いのベスト、帽子を貸し出し、支給された手袋を着用し、金バサミ、ゴミ袋を持ち、準備万端整った。せっかくなので南区の参加者9名で記念写真を撮影した。

9時45分からの開会式も済み、さっそく区ごとに割り当てられた区域に行き、各種のゴミ（タバコの吸い殻、ペットボトル、空き缶、紙くず、落ち葉等）を回収して回った。日頃の清掃が行き届いているのか、それとも昨今公園を訪れる方のマナーが良いのか、多分前者であろうが、ゴミの量は非常に少なく、短時間で回収作業は終了した。清掃作業が早めに終了したこともあり、時間のある皆さんとお茶でも飲もうと思ひ、声掛けしたところ、殆どの方にお付き合いしていただいた。

学生の皆さんと学生生活のことや南鯨城会の活動などについていろいろと意見が交わせ、相互に有意義な時間が過ごせたような気がした。



大江川さわやかウォークに参加して

幹事 A-伝馬 28期福祉 川島 喜美子

10月23日大江川緑地のさわやかウォークにボランティアとして参加しました。幸い薄曇りで暑さ知らず、絶好のウォーキング日和となりました。私達こなみ会は駐車場誘導、ゴミステーション、南門出口の歩行者横断などをお手伝いしました。南門出口は車の往来が激しく、人を渡したり、突然飛び出す自転車を制止したり、思った以上に気配り、目配りが大変で、気が抜けませんでした。幸い何事もなく無事終わりホッとしました。ゴミの分類は皆さんもかなり分かっていて、私達の云う事を素直に聞いて下さり、上々でした。障害者、老若男女、助け合って元気にウォーク、最後にお楽しみビンゴゲームもあり、大いに盛り上がりました。青空の下、助け合ったり、助けたり、皆さん元気な笑顔で足取りも軽く帰途につきました。来年も頑張って参加できたらいいなと思いました。



堀川清掃大作戦

副会長 ボランティア代表 大田 雅巳

秋晴れの続く 11 月 5 日、集合場所の東築地神社の境内に堀川と生活を考える会、鯨城会、鯨城学園の学生達が集まってきた。ここは堀川清掃大作戦の第 9 拠点である。今回の清掃大作戦では堀川の上流から下流までを 11 拠点到に分け、総員で 1,000 人規模を予定しているとのことであった。南鯨城会の参加者もクルマや自転車、バス等を使い、来られているようだ。いつものように出欠を取り、準備された手袋の着用、金バサミ、大小のゴミ袋を持って作業準備を行う。

10 時前に「堀川と生活を考える会」の第 9 拠点代表の方による作業説明があった。全員の集合写真に続き、南鯨城会でも記念写真を撮影した。第 9 拠点の担当範囲は堀川に沿った東築地小学校から約 1.5 km 先のコーナンまでの区間にある歩道のゴミ回収であり、南鯨城会の担当場所はそのうちの国道 23 号の高架下からコーナン（会社名）までの南から北に向かう歩道の西側部分約 1 km であった。ゴミの回収をしながら、堀川沿いを歩いていると、数百を超えると推定される、黒鴨（？）が堀川に飛来していた。北方からの冬鳥と思われるが、あまりの多さに暫し、見とれてしまった。

二週間ほど前の予備調査の際には歩道沿いの草刈りがされていず、ゴミもそれほどないと予想していたが、つい最近、草の刈り取りがされたようで、草が取り除かれた後に、かなり多くのゴミが放置されていた。約 1 時間の回収作業で多くのゴミ（ペットボトル、空き缶、プラスチック片、ビニル袋、紙くず、タバコの吸い殻・紙箱等）が回収でき、堀川沿いの歩道はゴミのない清潔な道路に変身した。南鯨城会からは 17 名が参加したが共同作業の効果を肌で感じた秋の 1 日であった。



国道 1 号線歩道清掃ボランティア

会計監査 A-道徳 25 期生活A 市川 公一

去る 11 月 11 日(金)こなみ会のボランティア活動、国道 1 号線歩道清掃が行われました。ABCDブロックから 22 名の参加がありました。午前 10 時に区役所東側広場に集合、南区役所地域力推進室の挨拶の後、2 組に分かれて区役所を出発、北は千竈通り 2 丁目交差点、南は星崎交差点の歩道のごみ拾いをしました。11 時過ぎには区役所東側広場に戻り、集まったごみを分別した結果、45 リットル袋で可燃ごみ 6 袋、資源ごみ 3 袋、不燃ごみ 1 袋が集まりました。毎年、この時期にこなみ会が清掃しているにも拘わらず、よくもこんなに多くのごみが出るものとし少し悲しい気持ちです。



当日は天気も良く、ごみを拾いながらゆっくりと歩いたが、折り返し点では少し汗ばむほどの暖かさでした。今年は缶ごみが少なくペットボトルも少なかった。相変わらず多いのがタバコの吸い殻。これは掃除区間どこにでも、ムラなく落ちている。特に駐車場の出入り口は風邪で吹き寄せられるのか、投げ捨て易いのか多いと思われた。また車道側に多く、建物側は日常的に清掃がなされているのだろうか少ない。

このボランティアは体力的に負荷も小さく、時間も短いので、会員同士が話しながら、参加できる楽しい活動と思います。



「こころの絆創膏」キャンペーンに参加して

社会奉仕委員 D・笠東・鶴里 27期環境 倉地 悠美

9月9日(金)午後5時30分、金山総合駅集合コンコース内での配布は、今回初めてです。鯉城会は南⑧千種⑦守山⑩緑⑧交通局②名鉄③計38名で一人100枚の割り当てで、3,800枚配布しました。決められた場所周辺で「名古屋市のキャンペーン」であることを強調するようにとの指示でスタートしました。しかし、何故か？私たちよりも制服を着た名鉄の方が渡す「絆創膏」は皆さんドンドン受け取り、制服の信用度の高さに驚きながらも参加した人との連携プレーで良く頑張りました。

※「絆創膏」の絆の字は「きずな」とも読み、悩みが小さなうちに人と人との絆で手当てしたいという想いを込めて名付けたそうです。また一人暮らしが多くなっている昨今、うつ病など誰でもかかる可能性がある身近な病気です。病気の理解と周囲のサポートが大切です。

うつ病のサインは！

〈自分が気付く症状〉

- ① 何事も興味がわかず楽しくない
- ② 朝早く目が覚める。など

〈周囲が気付く症状〉

- ① 以前に比べて表情が暗く元気がない
- ② 周囲との交流を避ける。など

一人で悩まないでお気軽にご相談をして笑顔にカエル！

鯉城学園で学んだ元気な皆様方には、縁遠いことかも知れませんがお互い気をつけて楽しい人生を送りましょう。



南区高齢者サロンまつりに参加して

会計 C-呼続(1) 29期福祉B 米田 和子

鯉城学園を卒業して7ヶ月が過ぎ、こなみ会に入会し、今回“南区高齢者サロンまつり”に参加しました。

スポーツプラザのレセプションホールの会場、ステージでは体操、合唱、落語などの催しがあり、こなみ会としては、キュービックパズルを作成しました。牛乳パックに思い思いの絵を描き、組み立てて絵をそろえる脳の活性化にとっても良いのでは！そろわなくてあきらめる方、最後までそろえて帰られる方、さまざまでしたが、私自身も楽しい時間を過ごすことができました。



この“南区高齢者サロンまつり”は、今年が初めてとの事ですが、たくさんの人に来ていただき来年も続く事を願い帰路に着きました。



俳句 二十期 文化B 伊藤 信吾

題名 私の春夏秋冬

恙なく馬齢を重ね去年今年

桃の花落けて伏屋に灯のともる

語りべの少なくなりし原爆忌

蛸に写経の筆を休めをり

晦日蕎麦二人知足の余生かな



俳句 二十七期 文化A 才野 良子

五葉松指先ほどの新松子

皓々と雲一つなき望の月

薄雪に凍てつく道の歩を小さく

天高し海に燦たる舟の鳥居

若水に幸多かれと手を清め



俳句 十八期 国際 安藤 虎杖 [進造]

俳句 二十六期 文化A 原 喜彦

題名 箱根の旅

箱根宮紅葉の湖畔鳥居建つ

芦ノ湖の紅葉の波止場巨帆船

帆船の舳先に女神紅葉風

赤富士や水澄む忍野大水車

雪しんしん曾我兄弟の箱根



小春日や海を眺めてひもすがら

水仙や楚々と清しく土手に咲き

春眠やなかなか起きぬ朝の妻

魚旨くその名を問えば鱸かな

早春の植物園に句をひねる



川柳 二十三期 生活B 湯浅 美祢子

短歌 十九期 文化A 廣瀬 敏雄

十八が意志を伝える選挙権

朝顔にホース向けて水やりを加賀千代女の匂を思い出し

高齢者律義に並ぶ投票所

点滴をつくづく眺め病床で不摂生なる日常を思う

気前よく贈り預金の底が尽き

三匹の子猫くわえてわが庭え今年も産とはこらしげなり

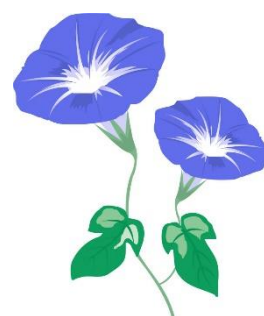
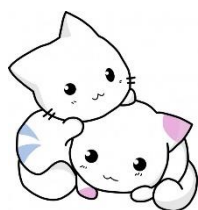
模様替え私の座る場所がない

八時間手術に耐えたわが息子われも時間と共にたたかえり

入院が家族の会話取り上げる

病む妻は表情をけれど桜の下スナップショットにわずかに

微笑む

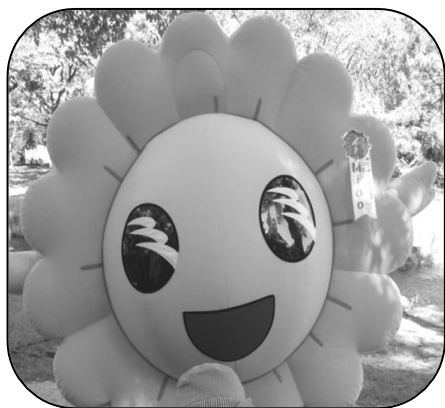


平成29年度(1月～4月)南鯨城会「こなみ会」各種会議・行事

実地日	会議・行事内容	会 場	備 考	
1月	14日(土)	こなみ会だより46号発行	社協5階研修室	広報 全役員
	16日(月)	熱田神宮参拝・新年会	大同特殊鋼健保会館	行事委員 全会員
	21日(土)	第34回 公開講演会	鯨城ホール	鯨城・行事委員 全会員
	27日(金)	区会説明会「2年生対象」	未定	正・副会長 鯨城
	28日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
2月	18日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
3月	上旬	こころの絆創膏	未定	社会奉仕委員 全会員
	9日(木)	第6回 鯨城会OB文化祭	鯨城ホール	鯨城会OB・有志 全会員
	12日(日)	名古屋ウイメンズ・マラソン2017	コース沿線・ボランティア	こなみ会ボランティア
	18日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
	未定	新旧役員引き継ぎ	社協5階研修室	新旧役員
4月	日付未定こなみ会29年度総会 大同特殊鋼健保会館 こなみ会員			

南区イメージキャラクターの紹介

【Mioo】”ミオー”で一す・・・ひまわり畑から来たよ



6年前に南区が区政100周年を迎えるに先立ち平成19年に記念キャラクターとして誕生、認知度は低かったのですが、平成25年度区政運営方針に「花であふれる街づくりの柱として南区の公式キャラクターになりました。今では引っ張りだこです。南区の人気ものです。こなみ会の皆さんよろしく！

チャームポイントは：南区のシンボルマーク形に輝く目

使命：“花と笑顔であふれるまちづくり”

様々な場所に出かけ、出会った人に花の種を配ります

【編集後記】

“新年明けましておめでとうございます”

「こなみ会だより」も今回で46回目を発行する事ができました。皆様のご協力とご支援に厚く感謝申し上げます。地域に密着した親しみやすく読みやすい小冊づくりをモットーに、これからも頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。

発行者 南鯨城会 ・ 名古屋市高年大学鯨城学園

発行責任者 南鯨城会会長 遠藤 信子

電話番号 052-613-0702

広報委員 鈴木京子 才野良子 木村 満治

電話番号 052-824-0432(鈴木)

福島健治 村上 正一 松岡 崇